

平成22年10月15日

各 位

いちごグループホールディングス株式会社
代 表 者 代表執行役会長 スコット キャロン
(コード番号 2337 大証 JASDAQ)
問合せ先 専務執行役管理部門責任者 石原 実
(電話番号 03-3502-4818)

新規不動産ファンドの組成に関するお知らせ

当社グループは、本日、収益不動産及び底地をはじめとした不動産資産を保有する会社の全株式を取得するためのファンドを新規組成するとともに、対象会社が保有する不動産のアセットマネジメント業務を受託いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. ファンドの概要

- (1)受 託 残 高 約73億円
- (2)エクイティ投資家 DLJ リアル・エステート・キャピタル・パートナーズ (以下「DLJ RECP」という。)
- (3)運 用 期 間 4年
- (4)運 用 対 象 首都圏のオフィス、商業施設、レジデンシャル、底地権 約80物件

2. 新規ファンド組成の背景

当社グループは、2010年2月期より、機関投資家等の皆様へ不動産投資機会を提供すべく、投資家のニーズ、不動産の内容に応じた新規ファンド商品の開発に積極的に取り組んでまいりました。本件は、2011年2月期における新規不動産ファンド組成の第1号案件となります。

本件は、当社グループが設立した合同会社に対して、DLJ RECP がエクイティ投資家として出資し、当該資金により、多数の不動産を保有する会社 (以下「対象会社」という。) を買収し、対象会社の保有する不動産から生じる収益を投資家へ分配する企業買収型の投資スキームであります。

当社グループは、スキーム関係者に対する税務面への配慮、不動産流通コストの抑制及び導管性の確保等を考慮し、当該スキームによるファンド組成を実現しております。なお、対象会社が保有する不動産の資産運用業務は、当社グループのいちご不動産投資顧問株式会社が受託しております。

今後も、不動産運用事業の更なる拡大による安定収益の獲得に向け、新規ファンド商品の開発を積極的に推進いたします。

なお、本件のエクイティ投資家であるDLJ RECP は、クレディ・スイスの一部門として不動産投資を世界的に行ってきた機関投資家であり、これまでに米国、ヨーロッパ、アジアで1兆5,000億円以上の投資実績を有していましたが、2010年9月にクレディ・スイスより独立しており、本案件への投資が日本における独立後の第1号案件となります。

3. 今後の見通し

本件が2011年2月期当社連結業績に与える影響は、2010年5月に発表の連結業績予想に織り込んでおります。

以 上

(注) 本資料に掲載されている将来に関する記述は、当社及び当社グループが発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。よって、実際の業績は様々な要因につき、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となりえることをご承知ください。